

県は24日、県産業技術センター野菜研究所がナガイモの新品種を開発し、品種名を「^{ゆめ}夢雪」と命名したと発表した。3月に農林水産省に品種登録を出願した。種イモの確保を進め、早ければ2028年に生産者への種苗供給をはじめ、29年の市場デビューを目指す。

県産技 29年デビュー目標

ナガイモ新品種「^{ゆめ}夢^{ゆき}雪」

ナガイモが品種登録されれば本県3例目となる。

夢雪は、同センター野菜研究所の職員と県農林水産部の職員が命名。「雪のように白くおいしいナガイモが、全国の皆さんに愛され続けるという夢をかなえる品種になってほしい」との願いを込めた。

県農林水産部の栗林豊次長は「夢雪は収穫作業がしやすく高品質。生産者の収益性向上が期待できる。味も従来の品種と比べて遜色ない」と話した。(寺山圭)



ナガイモの新品種名を発表し特徴を説明する栗林次長。写真⑥は従来の主要品種(園試系6)

東奥日報社提供 (令和6年6月25日掲載)

※この画像は、当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです